



支援方針

- 1) 自己肯定感を高め、可能性を広げる
- 2) 児童が安心できる事業所づくり
- 3) 児童・ご家族様と関係性の構築
- 4) ご家族様との連携を大切にし、子どもの成長を見守る

支援理念

発達に支援が必要な子どもたちに、楽しく安心して過せる環境を提供します。
子どもたちが自分の可能性を最大限に引き出し、社会で自信をもって過ごせる
ようになることを目標としています。

<健康・生活> 日常生活において、今後社会生活に必要な生活習慣(挨拶・時間の使い方・対人スキル)を日々療育する。苦手分野に対し支援員と1対1、小集団、集団活動で区分し、個々に合わせた支援プログラムを行う。



<運動・感覚> 運動機能や情緒面の安定を図る運動プログラムを基に運動支援を行う。運動プログラムは感覚統合療育の実施曜日(月・水)で作成し、目標設定を明確にし、成功体験を積み重ねることで自信に繋げていく。

<認知・行動> 療育プログラム(感覚統合・アナログゲーム)を日々導入し個々に応じて理解しやすい(具現化)指示のもと自発的に行動できるよう支援を行う。視覚的指示を提示し、その時々での過ごし方を理解できる支援を行う。

<言語・コミュニケーション> 様々なアセスメントを実施し、対人関係・受容・表出のレベルを具現化した上で調整(活動人数・人間関係)していく。個々の児童に合った支援プログラムを基に、少しずつ社会性のレベルを上げていく。

<人間関係・社会性> 一人ひとりに寄り添い、社会性レベルに合わせた活動内容を計画した上で環境にも配慮した支援を行う。日々の活動から、ルールやマナーなど将来必要なスキルを学べる支援を行う。

個人因子

環境因子

年間行事 ☺

新年会 節分/バレンタイン ひなまつり/ホワイトデー
イースター/お花見 運動会 流しそうめん
作品展 お月見 季節の制作 など

家族支援

ご家庭での困り事に関し、必要であれば都度相談・助言を行う。

定期的な研修を実施していく。

職員の質の向上

移行支援

学校(保育園)相談支援など各関係機関と情報共有し、児童に合った環境提供を図る。

避難活動で地域の公共施設活用。

地域支援